

新庁舎におけるネットワーク環境の検討状況について

令和6年5月に予定する新庁舎への移転に向け、新庁舎におけるネットワーク環境について、職員が効率的に働ける環境を整備し、業務の生産性が向上することで、区民サービスの向上が図られるよう構築する必要があることから、現在の検討状況を報告する。

1 検討中のネットワーク環境について

別紙のとおり

2 ネットワーク環境の検討状況について

ネットワーク環境の決定にあたっては各案の実現性、導入及び運用にかかるコスト、働き方や執務環境に与える変化を総合的に判断する必要があることから、事業者に対して情報提供依頼を行うとともに、コストなどの算定を行う。

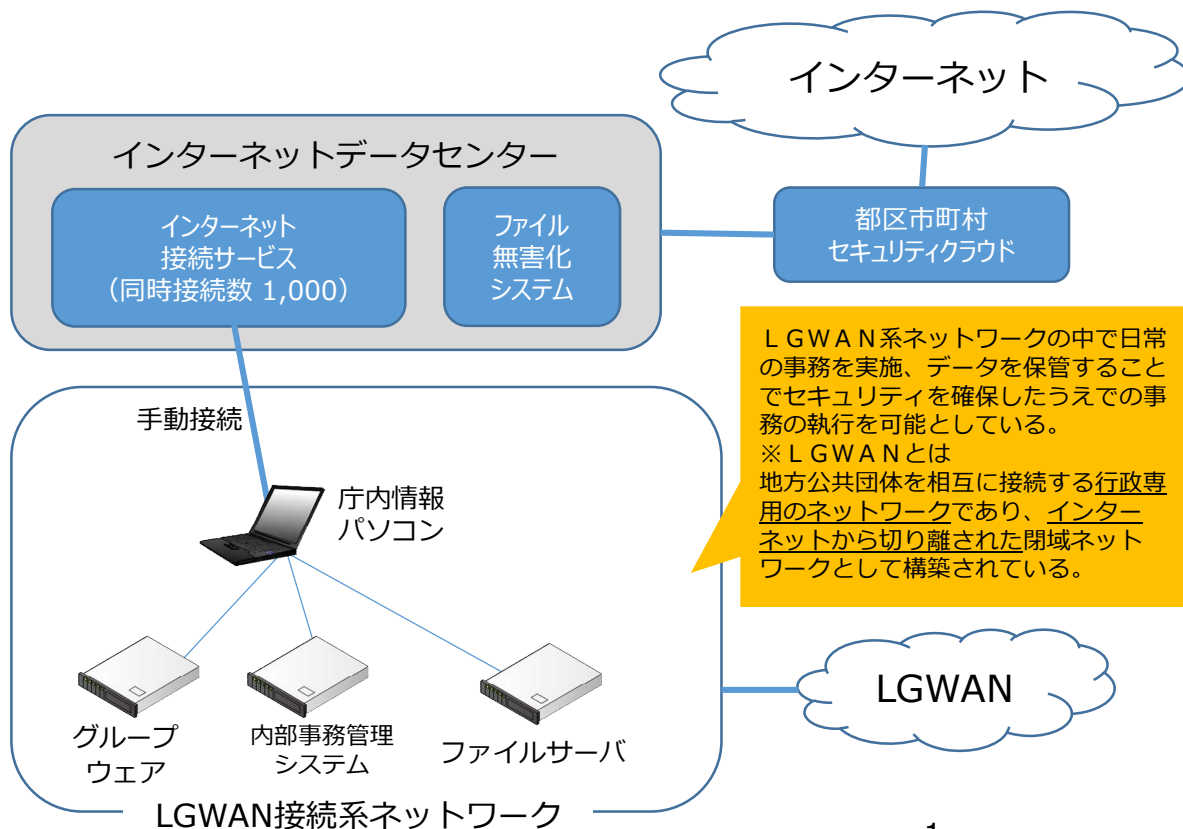
3 その他

住民情報システム系ネットワークについては、セキュリティ保護の観点から、区役所新庁舎移転後も現在と同様に他のネットワークから通信を独立させた構成とし、事務を実施する LGWAN 系ネットワーク及びインターネット系の構成の検討を行っている。

4 今後のスケジュール(予定)

令和3年8月	ネットワーク環境の整備方針案決定
令和3年10月	ネットワーク環境の整備方針決定
令和4年	企画提案公募型による事業者の選定
令和5年	ネットワーク環境の切り替え
令和6年5月	区役所新庁舎への移転

1. 庁内情報システムの現状構成



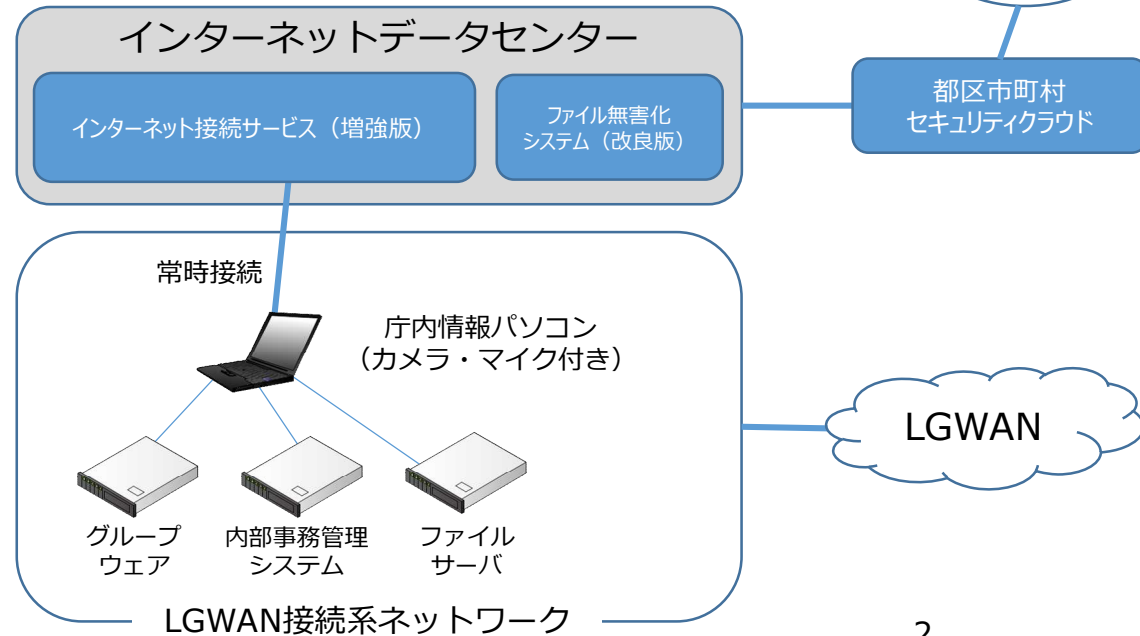
現状と課題

- 庁内情報パソコンは、LGWAN接続系ネットワークに属するため、インターネット上のサービスを直接使用できない。インターネット接続や外部とのファイルのやりとりにあたっては、インターネット接続サービスを経由する必要があるため、接続までに時間がかかり、同時接続数も1,000までに制限していることから、接続過多になると速度低下などが発生する。
- インターネットデータセンターが、区とインターネット間の通信を仲介し、都が提供する都区市町村セキュリティクラウドを経由してインターネットにアクセスすることで不正アクセスや情報流出に対処している。
- インターネットからの情報（メール、ダウンロードファイル）は、ファイル無害化システムにて無害化された後にLGWAN接続系ネットワークに届くことでセキュリティを確保している。一方でシステムを介する必要があることからファイルの形式によっては個別の対応が必要となり、また、ダウンロードにあたっては一定の時間がかかる。
- 庁内情報パソコンにはマイク、カメラを搭載していない上、インターネット接続サービスはマイク、カメラの情報を中継できないため、WEB会議等にあたっては別途端末等を準備する必要がある。

2. ネットワーク構成案 1 (現状構成の改良型)

同時接続数を増やし、インターネット回線を強化した上で、庁内情報パソコンの起動時に、インターネット接続サービス、及び、ユニファイド・コミュニケーションへ自動接続を行う。

ユニファイド・コミュニケーション機能をインターネット側に用意することで、外部とのWEB会議や、職員間でのチャットなどによるリアルタイムでのコミュニケーションなどを可能とする。



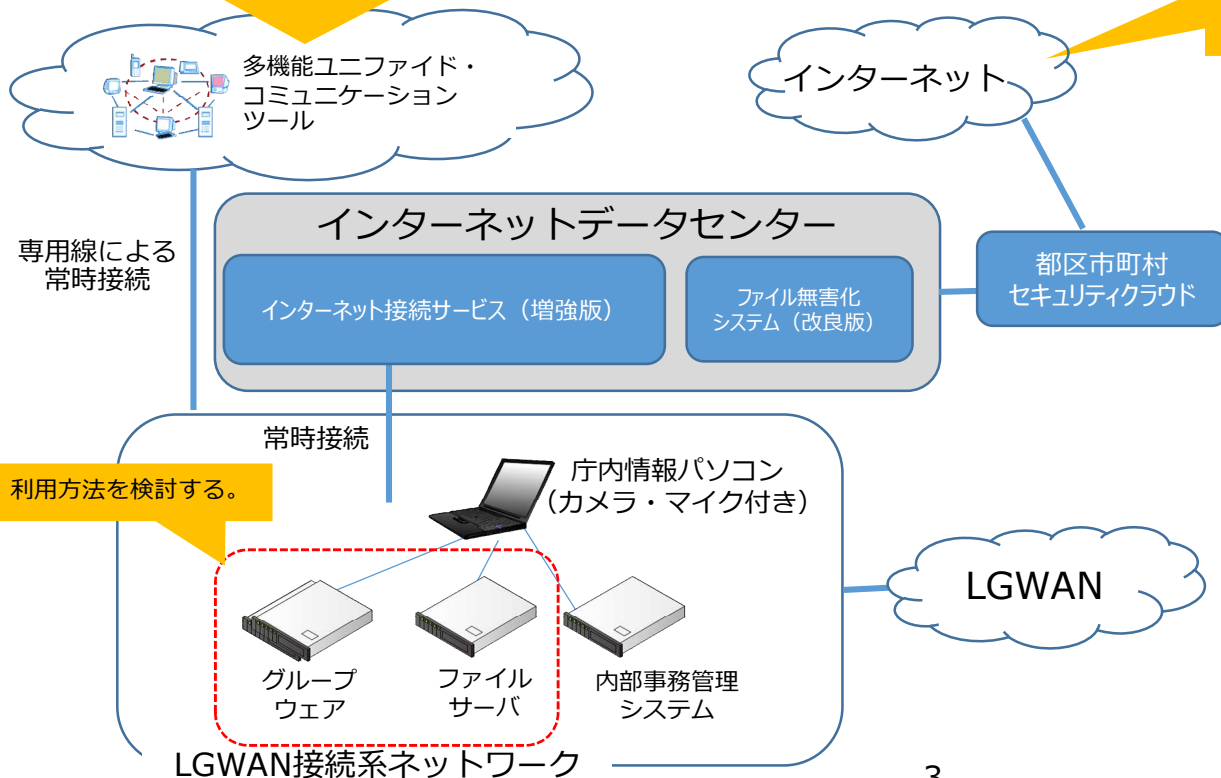
想定する機能と課題

- 新たにインターネット側にユニファイド・コミュニケーションのツールを追加することでWEB会議やチャットなどを利用可能とし、円滑なコミュニケーションができるよう検討する。
- インターネットへの接続機能を強化することで、Webページからの文字転記など可能とするよう検討する。
- ファイル無害化処理の機能を強化することで、ファイルのダウンロードやメールに添付されたファイルの移入を容易に行えるよう検討する。
- ユニファイド・コミュニケーションとの接続にあたってはインターネットデータセンター、都区市町村セキュリティクラウドを経由して行うことから、回線速度等に一定の制約がかかり、円滑なコミュニケーション等の実現が難しいことが懸念される。

3. ネットワーク構成案2 (現状構成の改良型2)

ユニファイド・コミュニケーションに専用線で接続を行い、文書作成などを行う。
ユニファイド・コミュニケーションにて提供されているサービスを利用することで、グループウェア系機能や電話機能の統合を行うことが可能となる。

インターネット接続にあたっては、案1同様にインターネットデータセンター及び都区市町村クラウドを経由することでセキュリティを確保する。



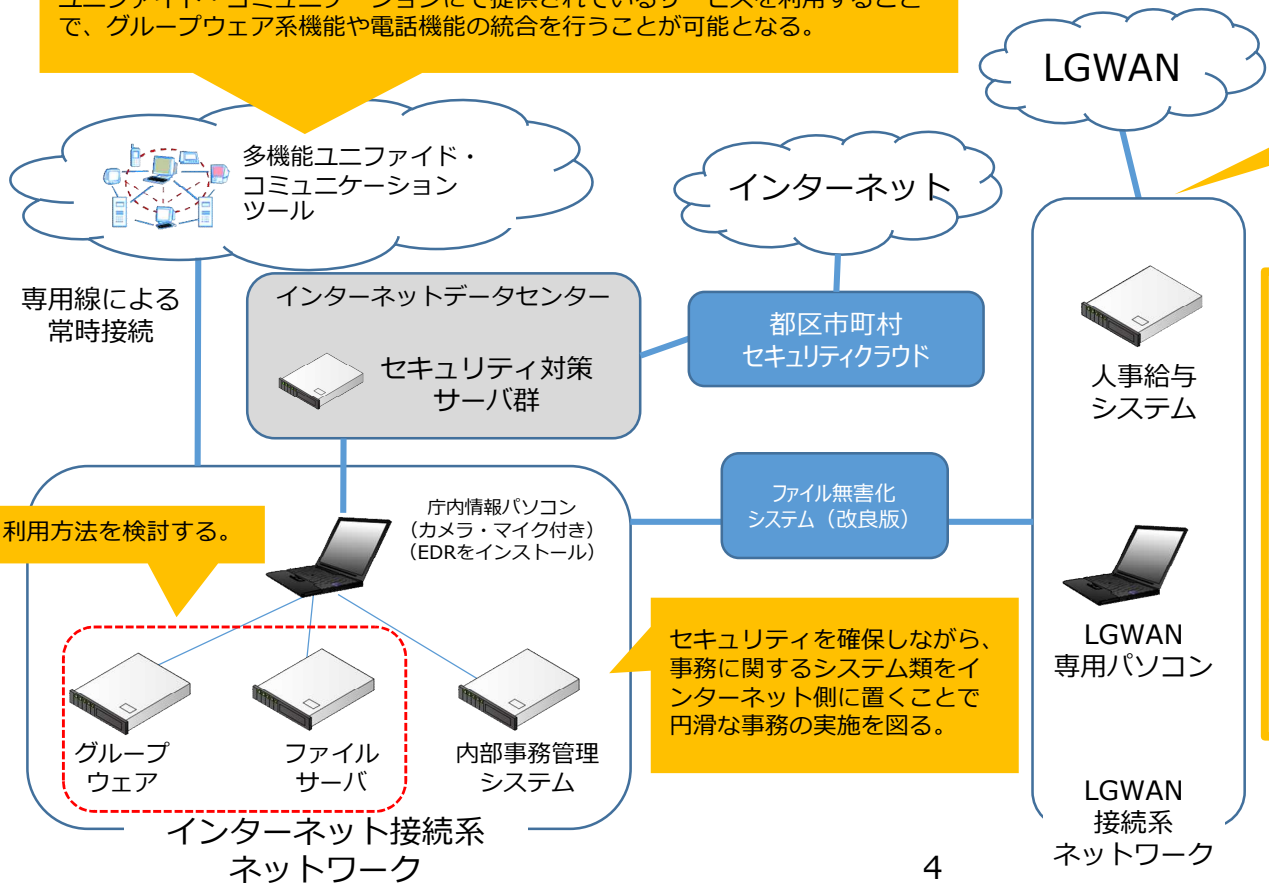
想定する機能と課題

- 高機能ユニファイド・コミュニケーションを活用し、チャットやWeb会議、内線電話、ファイル共有などコミュニケーションを全て1つのツールのなかで実現することで、円滑なコミュニケーションができるよう検討する。
- LGWANから高機能ユニファイド・コミュニケーションに専用線で接続することで、安定した回線速度のもと円滑に業務を行うよう検討する。
- インターネットの利用などの方式は案1と同様とし、データ等のセキュリティを確保するよう検討する。

4. ネットワーク構成案3 (パソコンを直接インターネットに接続する)

ユニファイド・コミュニケーションに専用線で接続を行い、文書作成などを行う。ユニファイド・コミュニケーションにて提供されているサービスを利用することで、グループウェア系機能や電話機能の統合を行うことが可能となる。

マイナンバーを取り扱う人事給与システムなどはLGWANネットワーク上に構築する必要があることから、利用にあたってはLGWAN系への接続処理が必要となる。



想定する機能と課題

- パソコンをインターネットに接続することでインターネット上の様々なサービスの利用を円滑にすることが期待される。
- 本モデルの採用のためには、現在の構成を相当に上回るセキュリティ機能(EDR等)の導入が必要となる。
- システム導入前のJ-LISによる監査や、導入後の全職員対象研修、定期的な監査等が必要となるため、相当の人的コストの増加も見込まれる。

セキュリティを確保しながら、事務に関するシステム類をインターネット側に置くことで円滑な事務の実施を図る。